

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都板橋区成増 3-13-1 アリエスビル1F
園名	ソラスト成増保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

保育室内×清掃活動×エプロン活用～綺麗にしよう隊～

<テーマの設定理由>

・昨年度園の行事としてエコポリスセンター職員の劇やごみ収集車の見学を実施した。その際に得たごみや清掃に関する興味関心を高めたいと考え設定した。

2 活動スケジュール

<3 歳クラス>

- ・ 12/25(木)

問いかけ・話し合い（過ごしたいと思う部屋とは？）

清掃活動（床清掃、椅子の脚拭き、整理整頓）

- ・ 2/17(火)

清掃活動（床清掃、椅子の脚拭き、整理整頓）

<4 歳クラス>

- ・ 12/23(火)

問いかけ・話し合い（掃除って何？綺麗にすることの大切さ）

清掃活動（ロッカー清掃、洋服整理）

- ・ 2/10(火)

清掃活動（床掃除）

<5 歳児クラス>

- ・ 11/28(金)

問いかけ・話し合い（掃除用具やエプロンのイメージ、用途は？）

- ・ 12/23(火)

清掃活動（床掃除、ロッカー清掃、洋服整理）

- ・ 1 月中

清掃活動（当番活動でエプロンや雑巾を活用）

- ・ 2/10(火)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 清掃時に着用するエプロン
- ・ 清掃用具（雑巾、ほうき・塵取り）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<3 歳児クラス>

・ 12/25 (木)

散らかっている室内の写真と綺麗な室内の写真を事前に撮り、写真を見てからどのような気持ちになるか、どちらの部屋で過ごしたいか、掃除とは何かを子どもたちに問いかけた。

実際に清掃活動を実施。子ども用エプロンを着用し、色ごとに活動を分けた（黄：ゴミ拾い、青：椅子の脚ふき、ピンク：整理整頓）

最後に全員ロッカーの拭き掃除をした。

・ 2/17(火)

前回の活動から、水道の回りに落ちているゴミや汚れに気付き、綺麗な環境を保とうとする姿が見られた。その姿を褒めながら、「玩具が散乱している現状」をみんなで確認し、片付けの必要性を

<4 歳児クラス>

・ 12/23 (火)

清掃活動をする前に「そうじって何？」ということ子どもたちと一緒に話し合った。ゴミが落ちている保育室の写真ときれいな状態の保育室の写真を見てどう感じたか、きれいになるとどんな気持ちになるか意見を聞きながら考えられるような時間を設けた。

清掃活動では、エプロンを着用し、自分のロッカーを雑巾で拭いてきれいにしたり、服の整理整頓をした。

・ 2/10(火)

ほうきと塵取りを用意し、前回とは異なる掃除方法で清掃活動を行った。

<5 歳児クラス>

・ 11/28(金)

サークルタイムの時間を設け、子どもたちからエプロンや掃除用具に対するイメージを聞いて紙に書き出し、「やってみたい」という気持ちを高めた。

・ 12/23 (火)

年末の大掃除として、雑巾で床掃除やロッカー掃除、整理整頓を実施した。エプロンを着用し、役割分担をしてチームで協力しながら清掃活動に取り組んでいた。

・ 1 月中

登板活動で廊下掃除（雑巾掛け）を実施

・ 2/10(火)

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

<3歳児クラス>

・12/25(木)

掃除とはどのようなことをするのかを問いかけると、「拭く」「ゴミを拾う」などの声が上がった。掃除を始めると、玩具の裏や棚のすきまのゴミも探しながら行っていた。ゴミを見つけると嬉しそうに見せており、宝探しのように楽しんでいて、雑巾で拭くと黒い汚れがつく様子に「わ～！キレイになった！」と嬉しそうにしていた。

・2/17(火)

前回と着用するエプロンの色は同じだったが、実際の作業は前回と異なるものだったので、わくわくした表情で楽しんでいて、前回、他の子が掃除している様子を観察していたが、実際にやってみると思う通りに行かず難しさを感じつつも、「ここも汚れている」「あっちも！」と1つの場所だけでなく広い視野を持って掃除に取り組んでいた。キレイになっていく様子を嬉しそうに友だちや

<4 歳児クラス>

・ 12/23 (火)

部屋が汚かったらどうするか、という質問には「拾って捨てる」「落ちている場所にいる友だちにおしえてあげる」という意見が出た。また部屋がきれいな時には「気持ちいい」「嬉しい気持ちになる」と肯定的な意見が出た。清掃活動では先生と同じエプロンを着たことで「なんかやる気が出る」「先生と同じで先生になったみたい」と喜ぶ姿が見られ、汚れを探して綺麗にしようと活発に取り組んでいた。

・ 2/10(火)

ホウキとチリトリを使っての清掃活動は 2 グループに分かれて行った。前回以上に「ここが汚れてる！」と子どもたち自身で気が付いてゴミを集めたり、どのようにホウキやチリトリを動かせば

<5 歳児クラス>

・ 11/28 (金)

先生と同じエプロンに興味をもち、「かわいい」「でも（先生のもの）ちょっと違うところもある」などと観察して気付いたことを伝えあっていた。「掃除したい場所」「掃除道具の使い方」について子どもたちが積極的に発言していた。保育士が大きな紙に書き出し室内に掲示することで、清掃活動について意識を高めることができるようにした。

・ 12/23(火)

前回の話し合いの内容を覚えており、エプロンを着て掃除することに意欲的な様子が見られた。役割分担を決める際には、子どもたち自身でチームを決め、同じチーム同士で「あっちもきれいにしよう」「椅子の脚の裏って汚れているね」と考えや感想を伝え合っていた。

・ 2/10(火)

ほうきなどの使い方について質問すると、「ゴミを取る!」「椅子の下とかきれいにするもの」と、それぞれのイメージを積極的に口に出して答えていた。実際の掃除すると想像以上にほこりが多いことに驚きながらも、ど

3歳クラス活動写真



4歳児クラス活動写真



5歳児クラス活動写真



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気付き>

<3 歳児クラス>

今回の清掃活動を通して、子どもたちの「室内を整えよう」「清潔にしよう」という意識が高まったと感じた。これまで、水道回りが濡れていたり紙が落ちていたりしてもそのままにしていることが多く、声をかけてもなかなか習慣化しなかった。また、気づいていても見て見ぬふりをすることも多くあった。しかし、今回の活動で役割を持ち、友だちと室内を清掃する楽しさや、綺麗になっていく心地よさを味わったことで、子どもたちの意識に変化が生まれ、自ら気づいて拭いたり拾ったりする姿が見られるようになった。

また、活動の中で子どもたちが予想以上に楽しみながら取り組んでいたことが印象的だった。ごみ拾いを宝探しのように見立てて、普段は見ることのない玩具棚の裏まで自主的に探して喜んだり、椅子を逆さまにして拭くといった普段ない作業も新鮮に楽しんでた。言葉で伝えるだけでなく、実際に体を動かして体験することで、清掃をより身近に感じ、理解が深まることを改めて実感した。今後も継続して取り組んでいきたいと考えている。

<4 歳児クラス>

子どもたちが思っていた以上に「掃除をする」ということを理解していたことに驚かされた。また、部屋がきれいになると「嬉しい気持ちになる」「気持ち良い」といった肯定的な意見が出たことを嬉しく思います。「誰かがやってくれる」のではなく、「自分で気が付いてその時に行く」ことが大切だと伝えたところ、その後は自ら気が付いて積極的にゴミを拾ってくれる子が増え、声をかけるとすぐに動いて整理整頓をしてくれるようになった。

ほうきとちりとりを使用しての清掃活動では、ちりとりにゴミが集まることで自分が集めた成果が目で見えてわかるため、子どもたちはより大きな達成感を味わうことができたと感じた。

<5 歳児クラス>

みんなが考えている掃除のイメージを大きく書き出したり、どこを掃除するのかを一緒に考えたりしたことで、子どもたちの探究心を高め、集中して取り組む意欲に繋がれたと思う。普段は見落としがちな部屋の隅のゴミやほこりにも気づいて掃除できたことや、日常生活の中でも自ら気づいてゴミを拾う姿が見られるようになるなど、活動を通して「自分たちにもできる」という自信と習慣を獲得できたと思う。また、お揃いのエプロンを着て掃除をするという、いつもとは違った特別な体験を楽しみながら行